

# あいかわ 議会だより

第176号

令和5年1月15日発行

責任者 議会議長 渡辺 基  
年4回発行・本号16ページ

県立あいかわ公園付近  
からみる日の出

- 議会改革推進特別委員会の中間報告 ..... P.5
- 第6次愛川町総合計画の特別委員会を設置 ..... P.5
- 各常任委員会の行政視察報告 ..... P.12・13

〈第3回10月臨時会・第4回12月定例会〉

議会クイズ 抽選で3名の方に  
商品券が当たる！

スマホで簡単応募

詳しくはP15をご覧ください



令和5年1月15日

2022 愛川町議会

令和4年第3回「10月臨時会」は10月28日に開催され、補正予算に関する町長提出議案を審議し、1件の議案を可決しました。

また、令和4年第4回愛川町議会「12月定例会」は12月1日から12月14日まで、会期14日間（本会議開催日4日間）にわたり開催され、条例の一部改正をはじめ、補正予算や事件議案など、合計で13件の町長提出議案を審議し、全議案を可決するとともに、6件の陳情を審査しました。

10月臨時会

補正予算

対し、子ども1人あたり1万円の支援金を給付するための経費です。

◎令和4年度愛川町一般会計補正予算(第7号)

(賛成全員)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3億2,992万4千円を追加し、一般会計の総額を145億4,049万5千円としたものです。

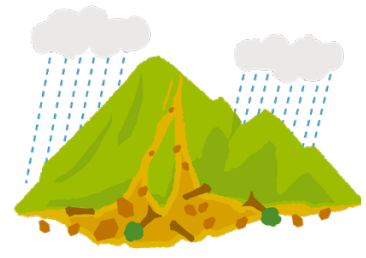


自治功労者表彰

木下眞樹子議員、熊坂崇徳議員が、議会議員在職11年以上となり、令和4年11月10日に神奈川県町村議会議長会自治功労者表彰を受けました。

木下 眞樹子 議員 熊坂 崇徳 議員

主な内容としては、価格高騰対策高齢者特別支援事業費として、75歳以上の後期高齢者に対し、1人あたり3千円分のギフト券を配付するほか、高校3年生までの児童・生徒を養育する保護者に



12月定例会

条例議案

職の任期付職員採用等に関する条例の一部改正

◎愛川町職員の定年等に関する条例等の一部改正

(賛成全員)

「地方公務員法」の一部改正に伴い、地方公務員の定年について段階的に65歳まで引き上げる定年延長の規定をするものです。

【施行期日】

令和5年4月1日

◎愛川町職員の給与に関する条例及び愛川町一般会計補正予算(第7号)の施行期日

人事院勧告や国家公務員の給与と改定の内容に準拠し、若年層に重点を置いたプラスの給与改定を行うため、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

◎愛川町税条例の一部改正

「地方税法」の一部改正に伴い、公共下水道の利用者が設置した「下水道除害施設」に係る固定資産税の課税標準の特例が見直されたことから、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】

公布の日

◎愛川町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び愛川町長等常勤の特別職の給与に関する条例の一部改正

【施行期日】

公布の日

人事院勧告の趣旨を踏まえ、一般職と同様に町議会議員及び常勤特別職

の期末手当を0.1月分引き上げるものです。

令和4年第3回10月臨時会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
10	28	金	本会議	町長提出議案の説明、質疑、討論、採決

令和4年第4回12月定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
12	1	木	本会議	陳情の委員会付託、町長提出議案の説明、特別委員会の設置
			第6次愛川町総合計画特別委員会	正副委員長の互選、開催日程の決定
12	5	月	本会議	一般質問(6人)
			本会議	一般質問(4人)
12	8	木	総務建設常任委員会	付託案件の審査、所管事務調査
			第6次愛川町総合計画特別委員会	付託案件の審査
12	9	金	教育民生常任委員会	付託案件の審査、所管事務調査
			本会議	町長提出議案の質疑、討論、採決 付託案件の審査結果の委員報告、採決 議員提出議案の説明、質疑、討論、採決
12	14	水	本会議	町長提出議案の質疑、討論、採決 付託案件の審査結果の委員報告、採決 議員提出議案の説明、質疑、討論、採決



文化会館かえで広場のタイルを改修します

補正予算

◎令和4年度愛川町一般会計補正予算(第8号)

(賛成全員)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ7,546万9千円を追加し、一般会計の総額を146億1,596万4千円としたものです。

主な内容としては、愛川東中学校において、新たに階段昇降車1台を購入する経費のほか、文化会館かえで広場のタイルを改修するための経費です。

◎令和4年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

◎令和4年度愛川町介護保険特別会計補正予算(第2号)

(第1号)

◎令和4年度愛川町公共下水道事業会計補正予算(第1号)

◎令和4年度愛川町水道事業会計補正予算(第1号)

(以上、賛成全員)

第6次愛川町総合計画を可決

◎第6次愛川町総合計画基本構想及び前期基本計画の策定 (賛成全員)

現行の第5次総合計画は、今年度をもって12年の計画期間が満了となるため、令和5年度を初年度として、SDGsや人権尊重、カーボンニュートラルなど、時勢に沿った考え方を取り入れ、本町の中長期的な将来ビジョンを定める新たな総合計画を策定するものです。[第6次愛川町総合計画]

事件議案

◎土地の処分について (賛成全員)

本町が所有している土地について、地権者6名から譲渡申請があったことから、この一部の町有地を処分するものです。所在地及び地目 相模原市緑区小倉字三栗山1907番348 外13筆 山林 地積 53,998㎡

議員提出議案

◎国に私学助成の拡充を求める意見書の提出について (賛成10人、反対5人)

すべての子どもたちに学ぶ権利を保障し、経済的な理由により私学での学びが妨げられないよう私学助成の拡充を図るため、国へ意見書を提出するものです。 ※詳細については、11ページをご覧ください。

個人総括質疑

12月14日の本会議では、条例及び補正予算議案等を対象に、小林議員、鈴木議員、阿部議員、岸上議員、山中議員の5名が個人総括質疑を行いました。質疑項目の一部を紹介します。

文化会館かえで広場タイル改修工事

■工事の詳細について

愛川聖苑施設使用料増額

■増額の詳細について

すこやか親子健康診査等事業費増額

■増額の詳細について

養育医療費助成事業費増額

■増額の詳細について

土地の処分について

■地上権を500年に設定した経緯について

「マチイロ」アプリの紹介

本町を含む各自自治体の広報紙が閲覧できる無料アプリ「マチイロ」でも「議会だよりあいかわ」をお届けしています。スマートフォンやタブレットなどで、手軽にご覧になることができます。左記にある2次元コードから専用ページにリンクしますのでぜひご利用ください。



マチを好きになるアプリ



「マチイロ」(運営:株式会社ジチネットワークス/福岡市)

## 令和4年 第3回10月臨時会 議決一覧表

### ●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出 第72号	令和4年度愛川町一般会計補正予算(第7号)	可 決

## 令和4年 第4回12月定例会 議決一覧表

### ●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出 第73号	愛川町職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の制定について	可 決
町長提出 第74号	愛川町職員の給与に関する条例及び愛川町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第75号	愛川町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び愛川町長等常勤の特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第76号	愛川町税条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第77号	令和4年度愛川町一般会計補正予算(第8号)	可 決
町長提出 第78号	令和4年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可 決
町長提出 第79号	令和4年度愛川町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可 決
町長提出 第80号	令和4年度愛川町公共下水道事業会計補正予算(第1号)	可 決
町長提出 第81号	令和4年度愛川町水道事業会計補正予算(第1号)	可 決
町長提出 第82号	第6次愛川町総合計画基本構想及び前期基本計画の策定について	可 決
町長提出 第83号	土地の処分について	可 決
町長提出 第84号	町道路線の廃止について	可 決
町長提出 第85号	町道路線の認定について	可 決

### ●意見が分かれた議案

○…賛成、●…反対

議案番号	議案等の件名	公明党		日本共産党 愛川町議員団			あいかわの聲			令和 あいかわ			あすかみらい		無所属 佐藤 茂	議決結果		
		井出 一己	佐藤 りえ	岸上 敦子	鈴木 信一	井上 博明	小林 敬子	熊坂 崇徳	渡辺 基	玉利 優	阿部 隆之	馬場 司	茅 孝之	山中 正樹			小島 総一郎	木下 真樹子
陳第7号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	●	●	●	○	○	○	●	議長は採決に 加わりませ ん	●	●	●	●	●	●	●	不採択	
陳第8号	医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める陳情	○	○	○	●	●	●	○		○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨了承
陳第9号	介護保険制度の改善を求める陳情	○	○	○	●	●	●	○		○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨了承
陳第10号	安全・安心の医療・介護実現のため、人員増と処遇改善を求める陳情	○	○	○	●	●	●	○		○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨了承
陳第11号	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	●	●	●	○	○	○	●		●	○	○	○	○	○	○	○	採 択
陳第12号	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	○	○	○	●	●	●	○		○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨了承
議員提出 第3号	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出について	●	●	●	○	○	○	●		●	○	○	○	○	○	○	○	可 決

※陳情第8号、9号、10号及び12号は、委員長報告の「趣旨了承」に対する賛否です。

議会改革推進特別委員会の中間報告

協議項目	報告内容
議会のペーパーレス化の推進について	書類送達等の迅速化を図るとともに、情報処理の効率化・高度化等による審議の充実等を実現する必要があることから、クラウドサービスを活用した「ペーパーレス会議システム」を導入していくこととした。
議会のICT環境の整備について	次の3項目について、令和5年度の導入に向けて優先的に調査していくこととした。 (1) スケジュール管理システムの導入 (2) タブレット端末の全議員配付 (3) ペーパーレス会議システムの導入
危機管理体制の強化について	常任委員会等の会議のリモート開催を可能としていくため、委員会条例等の改正について調査を行った。協議の結果、今後は、条例改正案の調査と合わせ、細かな運営についても、要綱(内規)等を定め、令和5年9月議会において条例改正案が提出できるよう進めていくこととした。

第6次愛川町総合計画議会検討会の日程

月	日	曜	主な内容
2	18	金	今後の開催日程等を決定
3	1	火	検討会における今後の取り組み
	29	火	前計画の検証を含め、第6次愛川町総合計画のまとめ方について協議
6	21	火	第6次愛川町総合計画(素案)の提示・説明 総説・基本構想・前期基本計画・第1・2部の検討
	28	火	第6次愛川町総合計画(素案)に対する 第3・4部の検討
7	6	水	第6次愛川町総合計画(素案)に対する 第5・6部の検討 最終確認
	13	水	第6次愛川町総合計画(素案)に対する総説・基本構想・前期基本計画・第1～6部の全項目の協議が終了し、意見・提言を整理
	14	木	町長へ意見・提言書を提出
8	31	水	提出した提言書・意見書に基づく第6次愛川町総合計画(案)の提示・説明
10	4	火	第6次愛川町総合計画(案)に対する質疑・答弁

第6次愛川町総合計画特別委員会の日程

月	日	曜	主な内容
	1	木	正副委員長の互選、開催日程の決定
12	8	木	付託案件の審査
	14	水	本会議での委員長報告及び採決



12月8日に開催した特別委員会の様子

議会では、開かれた議  
会を実現するため、本特  
別委員会を設置し、議会  
のあり方や運営方法など  
について調査を行ってい  
ます。  
12月1日の本会議では、  
井出一己委員長が、第8  
回までの会議で行われた  
協議事項について中間報  
告を行いました。内容の  
一部は次のとおりです。



タブレット研修の様子

令和4年度をもって  
「第5次愛川町総合計画」  
が満了することから、本  
町の中長期的な将来ビジ  
ョンを定める「第6次愛川  
町総合計画」を、令和5年  
度から令和16年度までの  
12年間を計画期間として  
策定しています。  
議会では令和4年2月  
7日に「第6次愛川町総  
合計画議会検討会」を設

置しました。その検討会  
では、議員全員で総合計  
画(案)について検討を行  
い、7月14日に全85項目  
の提言書・意見書を小野  
澤町長へ提出しました。  
その後、提言書・意見  
書に基づき、基本計画案  
の提示・説明に対し、10  
月4日に質疑を行った後、  
12月定例会において議案  
が提出されました。

12月1日の本会議にお  
いて、町側から提案説明  
を受け、「第6次愛川町総  
合計画特別委員会」を設  
置、同月8日には委員会  
を開催し審査を行いました。  
そして、14日の本会議  
で委員長報告を行い、採  
決をした結果、全会一致  
で可決しました。

第6次愛川町総合計画特別委員会委員

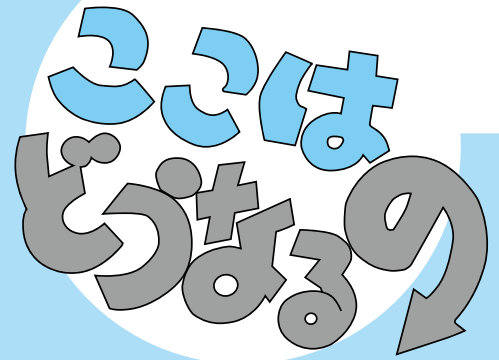
委員長	馬場 司 議員
副委員長	山中 正樹 議員
委員	井出 一己 議員
委員	鈴木 信一 議員
委員	熊坂 崇徳 議員
委員	阿部 隆之 議員

※ほかに正副議長がオブザーバーとして参加

議会改革推進特別委員会

第6次愛川町総合計画特別委員会

# 一般質問



紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは役場等に備え付けてある「会議録」をご覧ください。インターネットでもご覧になれます。なお、12月定例会の会議録は、3月頃に完成予定です。

※各議員の写真の横にある2次元コードを読み込むと、本会議での質問動画がスマートフォンやタブレット端末でもご覧になれます。

## 茅 孝之 議員 P.6

・ジュニア育成の環境整備について

## 玉利 優 議員 P.9

・インクルーシブ教育について ほか

## 井上 博明 議員 P.7

・これからの行政運営について ほか

## 小林 敬子 議員 P.9

・児童生徒の不登校について ほか

## 鈴木 信一 議員 P.7

・里地里山の保全に関する取り組みについて ほか

## 山中 正樹 議員 P.10

・企業版ふるさと納税について

## 岸上 敦子 議員 P.8

・ヤングケアラーについて ほか

## 井出 一己 議員 P.10

・環境教育について ほか

## 阿部 隆之 議員 P.8

・良好な職場環境づくりについて

## 熊坂 崇徳 議員 P.11

・中学校部活動の地域移行について ほか

町長 21種類の団体が加盟するスポーツ協会に対し、活動の一助として補助制度を設けているほか、全国大会出場者に奨励金を交付するなど支援に努めています。

### スポーツ協会へ補助 全国大会出場奨励金

**問** 最近のスポーツ界では、若い世代の活躍が目立ち、本町においても、スポーツを通じてジュニア育成の環境を整備し「心・技・体」の人間性を形成しながら、支援にも取り組む必要があると思いますが、町の考えを伺います。

### ジュニアの育成 支援などの取組



かや 茅 孝之 議員

### ふるさと納税自動販売機設置を

**問** ジュニア育成の環境を整備していくためには、スポーツ用具等購入時の補助支援を行う必要があります。その財源の一例として町内のゴルフ場に、新たにふるさと納税自動販売機を設置し、その納税分をジュニア育成に対する補助や支援に充当することを考えています。そこで、本町のふるさと納税の現状について伺います。

### ふるさと納税寄付金 文化・スポーツ等に活用

財政課長 本町のふるさと納税制度は、平成28年度から開始し、愛川ブランド等の返礼品の贈呈を行っています。  
令和3年度の決算額は、2,544万6千円で、寄付金の使い道は、文化やスポーツの振興など4つの選択肢があり、寄付に応じた事務事業に充当しています。



相模原市に設置されている  
ふるさと納税自動販売機

**町長** 近年の第1号公園野球場の利用人数と利用回数は減少傾向にありま  
す。今後は、町野球協会  
などの意見を聞きながら、  
例えば2面ある野球場を  
1面とするなど、効果的  
なスポーツ施設に変更し  
ていきたいと考えていま  
す。

**効果的な施設に  
変更する考え**

**問** 全国的に野球競  
技人口が減少してい  
ますが、第1号公園野球  
場の今後について伺いま  
す。

**第1号公園野球場  
今後について**



いのうえ ひろあき 議員  
井上 博明



第1号公園野球場の様子

**新年度予算編成への想い**

**問** 現在、新年度予  
算の編成作業が進  
められています。予算  
編成にあたり、物価高  
騰下であっても、町民  
の暮らしを支え、新型  
コロナウイルス感染症  
から町民の命を守る町  
政を引き続き推進して  
ほしいと考えています。  
そこで、新年度予算編  
成に対する想いについ  
て伺います。

**暮らし守ること重点  
寄り添う施策を進める**

**町長** 新年度の予算編成  
にあたり、国の施策を見  
据えながら、町としてで  
きること・やるべきこと  
にしっかりと取り組み、  
引き続き暮らしを守るこ  
とに重点を置き、きめ細  
やかな町民に寄り添った  
施策を進めていきたいと  
考えています。

**【その他の質問項目】**

愛川町公共施設個別施  
設計画について

**小中学校給食  
無償化の考え**



すずき しんいち 議員  
鈴木 信一



**問** 国の調査では、  
子育てや教育への  
費用がかかりすぎるこ  
とが理想の子ども数  
を持たない理由として  
最も多く回答されまし  
た。そこで、教育の一  
環として実施されてい  
る学校給食の費用を無  
償化する考えについて  
伺います。

**実施の考えなく  
負担軽減を措置**

**町長** 町が学校給食費の  
無償化を実施することは  
考えていませんが、現在  
まで様々な支援事業を通  
じ、保護者の経済的負担  
を軽減するための措置を  
適時適切に講じています。

**里地里山 保全活動の状況と課題**

**問** 環境省が生物多  
様性を保全するう  
えで重要な里地里山と  
して選定した場所のう  
ち、愛川町の八菅山・  
尾山が選出されました。  
そこで、本町における  
里地里山の保全活動の  
取り組み状況と課題に  
ついて伺います。

**林内整備高齢で困難  
協力者発掘など研究**

**町長** 平成18年度から下  
谷・八菅山地区の住民に  
より組織された「八菅山



温かくて美味しい給食

**【その他の質問項目】**  
公共交通の利便性向上  
について

尾山」里山をまもる会」  
との共同事業により、同  
地区の山林に自生する山  
桜の保全のために、林内  
整備や下刈作業を実施し  
てきました。しかし、会  
員の高齢化が進み、事業  
を存続させることが困難  
になっていくため、協力  
いただけるボランティア  
の発掘や、先進事例の情  
報収集と研究を進めてい  
きたいと考えています。

**ヤングケアラー 認知度向上の取組**



あつき 敦子 議員  
きしがみ 岸上



**問** 本町におけるヤングケアラーの認知度向上の取り組みについて伺います。

**H Pや広報紙に掲載 SNS等活用し周知**

町長 広く町民の皆さんにヤングケアラーの概念を知っていただくため、一般社団法人「日本ケアラー連盟」が、具体的な事例を分かりやすく解説したイラストを、ホームページや広報紙に掲載しているほかに、子育て支援センターで開設しているSNS等を活用し、周知啓発に努めています。

**あいかわまち 子育て支援ガイド**



新しい子育てでスタートししょう！町では、子育て支援センターで、子育ても楽しくいっしょ！みんなが笑顔で、パパも、地域のみんなも笑顔でいっしょ！

東川町民生部 子育て支援課  
046-285-6932(直通) 助産師連絡  
046-285-6970(直通)

子育ての不安、悩みや子育て相談の悩み、子育ての悩みを解決！  
子育ての不安、悩みや子育て相談の悩み、子育ての悩みを解決！

本町の「子育て支援ガイド」



←ガイドの詳細はこちら

**子育て支援ガイドの改定**

**問** 子育て支援に関する情報をより分かりやすく提供するため、「子育て支援ガイド」に写真やイラスト、公開情報を追加するなどの改定をしてみてもどうかと思いますが、町の考えについて伺います。

町長 子育て支援ガイドの作成については、妊娠・出産から子どもの成長に沿った順序で紙面を構成するなど工夫を凝らしています。

**紙面構成工夫凝らす デジタル媒体で配信**

町長 現在のガイドは、白黒の内部印刷で作成していることから、鮮明度の点で写真が使用しにくいことや、サイズがA5版(議会だよりの半分の大きさ)であり、文字やイラストが小さいことから、今後、他自治体のガイドブックも参考にしながら、デジタル媒体での配信も含め、改善を加えていきたいと考えています。

【その他の質問項目】  
子宮頸がん予防ワクチンについて

**安定的な町政運営 能力業績への評価**



あべ 隆之 議員  
あべ 阿部



**問** 安定的な町政運営のためにも、令和の時代に合ったキャリアに対する考え方や対応が必要で、主幹以下の職員の能力や業績に対する評価について伺います。

町長 意欲的に業務に励んでいる若い職員には、適切な人事配置や昇給昇格を行い、また、やる気のある職員、努力を惜しまない職員についても、持っている能力を最大限に発揮できるように、より良い職場の風土づくりに取り組んでいきます。

**人事配置や昇給昇格 職場の風土づくりに**

町長 意欲的に業務に励んでいる若い職員には、適切な人事配置や昇給昇格を行い、また、やる気のある職員、努力を惜しまない職員についても、持っている能力を最大限に発揮できるように、より良い職場の風土づくりに取り組んでいきます。

**明るく現代的な職場環境**

**問** ゆとりを持った明るく現代風の空間づくり、また、庁舎における見やすく大きな看板や課ごとのイメージカラーを用いることは、町民にとっても利用しやすい役場になります。

また、古い机や椅子の更新など、職員にとっても働きやすい空間や業務を遂行しやすい職場環境づくりが必要と思いますが、町の考えを伺います。

**椅子等は段階的更新 LEDで照度確保へ**

総務部長 職員が使用している机・椅子については、段階的に更新を行ってまいります。また、照明設備についても、LED化による照度の確保など、執務環境の整備を行っています。本町としては、引き続き、職員が働きやすい職場環境づくりの推進に努めていきたいと考えています。





**教育長** 各学校にインクルーシブサポーターを配置することにより、特別支援学級の児童・生徒が通常の学級の中でも「包括的」に支援を受けられるように取り組んでいます。

また、課題としては、教職員のインクルーシブ教育へのさらなる理解と指導力の向上、教職員同士の連携が必要であると認識しています。

**問** 包括的な支援取り組み  
課題は教職員の連携

**問** インクルーシブ教育の現状と課題について伺います。

※インクルーシブ教育  
現状と課題



たまりまさる  
議員



※インクルーシブ教育とは：  
すべての子どもの多様なニーズに対応できるように、一人ひとりに配慮した教育のこと。



**町長** 本町では、平成27年に県内他自治体にすぎがけ、「空き家バンク制度」を開始したほかに、空き家の実態を把握するため、各行政区から寄せられた情報を基に、隔年で空き家の実態調査をしています。

**問** 改善できる仕組み構築  
新たに相談窓口開設

空き家問題  
課題解決に向けた取り組み

**問** 空き家問題は、全国的にも増加しており、その対策が追いつかないようです。そこで、本町の課題解決に向けた取り組みについて伺います。

また、令和4年3月に「愛川町空家等対策計画」を策定し、法に定める特定空き家として、町が認定したうえで、改善を促すための助言又は指導・勧告・命令ができる仕組みを構築しました。

さらに、今年度からは、空き家相談窓口を新たに開設したほかに、神奈川県司法書士会の協力のもと「わが家の未来ノート」が完成し、令和5年2月には、このノートを活用したセミナーを開催する予定です。

**国**の動向を見極め  
計画見直し進める

**環境経済部長** 国では、2050年までにカーボンニュートラルを目指すとしたものの、具体的な目標等が示されず、国の動向を見極めたうえで、国の策定を検討しましたが、空白期間の長期化は好ましくないと考え、脱炭素を見据えた第3次計画の見直しを進めています。

あいかわエコアクションプラン  
二酸化炭素削減  
達成後の方向性



こばやしけいこ  
議員



**問** 第3次あいかわエコアクションプランに掲げた二酸化炭素排出量の削減目標は達成したとのことですが、今後の方向性について伺います。

**校長会からも要望  
必要な日数を検討**

**教育長** 学校現場では、

スクール・ソーシャル・ワーカーの役割は、不登校などで悩みを抱える生徒・児童たちにとって、非常に重要だと思っています。現場の先生からも「今の人数では、十分な対応ができず、もっと増やしてほしい。」との要望があります。そこで、今後、派遣日数を増やしていく考えについて伺います。

また、校長会でも「もう少し派遣日数を増やしてほしい」との要望があり、子どもたちにとってもとても重要だと自覚していますので、現在、どのくらいの日数が必要なのかを検討しています。

**問** 学校現場におけるスクール・ソーシャル・ワーカーの役割は、不登校などで悩みを抱える生徒・児童たちにとって、非常に重要だと思っています。現場の先生からも「今の人数では、十分な対応ができず、もっと増やしてほしい。」との要望があります。そこで、今後、派遣日数を増やしていく考えについて伺います。

※スクール・ソーシャル・ワーカー  
人数もっと増やしてほしい

※スクール・ソーシャル・ワーカーとは：児童・生徒が抱える問題に対し、保護者・教職員・関係機関と協力しながら、問題の解決を図る専門職のこと。



令和5年1月15日

**地方創生応援税制導入で財源確保を**



やまなか 山 中 まさき 議員



**問** 本町には大手企業が工場等を設置していますが、必ずしも本社機能がなく、法人税等の収入に結び付いていません。そこで、自主財源確保のため、「企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)」を導入する考えを伺います。

**本町は支援対象外活用はなかなか難**

町長 企業版ふるさと納税は、法人関係税から最大9割が控除される制度で、政策アイデア次第で寄付を募ることができ魅力的な制度です。一方、本社がある自治体への寄付はできず、三大都市圏

に所在し、かつ不交付団体であるなどの場合、一定の制約が設けられています。

したがって、本町は支援対象外地域に指定され、活用は難しいところです。

**企業版ふるさと納税は可能**

**問** 県内の支援対象外自治体は18市9町ですが、横須賀市は累計1億円の寄付を受け、平塚市・小田原市も活用しています。令和元年度において不交付団体の町が地域再生計画を策定し、認定を受けています。そこで、支援の対象となる市町村と、仮に地域再生計画を策定し認定された場合、

支援対象1市5町村  
見込企業数386社

企画政策課長 支援対象は相模原市、山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町、清川村の1市5町村。また、本町で寄付が見込める企業は386社です。

※不交付団体とは：国からの補助にあたる地方交付税を受けていない、みずからの税収だけで財政運営できる自治体



企業版ふるさと納税に期待します

**環境教育の充実 エコスクールプラス**



い で 井 出 かずみ 議員

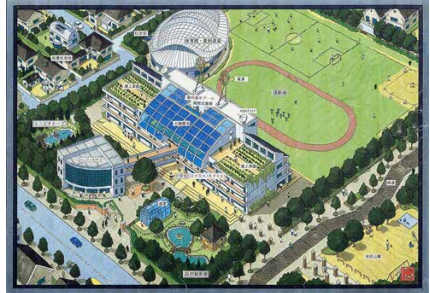


**問** 公共建築物の中で大きな割合を占める学校施設の老朽化がピークをむかえる中、部分的な改修から取り組むことも大変重要です。そこで、環境教育の充実に向けた「エコスクールプラス」や「ZEB事業」導入の考えを伺います。

**費用対効果や優位性検証しながら研究**

教育長 中長期的な視点に立った施設の適正化と効率的な管理運営を推進することを目的とした「町公共施設個別施設計画」の進捗に合わせて、費用対効果や優位性を検証しながら研究していきます。

※1 エコスクールプラスとは：文部科学省、農林水産省、国土交通省、環境省が連携協力を行い、市町村等がエコスクールとして整備する学校のこと。



(エコスクールのイメージ)

出典：文部科学省ホームページより

※2 ZEB事業とは：ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(略称で、太陽光発電等の再生可能エネルギーを活用し、節電しながら、建物で消費する年間エネルギーの収支をゼロにする事業のこと。

**「不登校児童生徒対策」 不登校特別校の設置**

**問** 教育機会確保法では、「休養の必要性」を認め、子どもたちの学びや就職などに つながるような環境づくりが必要であるとしていますが、その指導性と不登校特別校の設置を含めた、夜間中学校の活用の可能性について伺います。

みを強化することにより不登校児童生徒の減少につなげていきます。また、「学校に登校する」という結果のみを目標にせず、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指せるように教職員の指導力向上に努めます。

教育次長 夜間中学校の活用は、入学対象者を「学齢期を経過した人」としていることから、現在、不登校児童生徒は、その対象とならないため、今後研究していきます。

**進路を主体的に捉え 指導力向上に努める**

教育長 学校現場や関係機関との連携を密にしながら、早期発見の取り組み

後研究していきます。

**町民税等で導入済 総合的な研究行う**

町長 令和2年度から町民税等の支払いをバーコード決済で支払えるようにしています。

今後、住民票等の支払いについても、費用対効果や優先順位などを総合的に見極めながら研究を行っているところです。

**問** スマートフォンを利用した「キャッシュレス決済」は現金を取り出さずに、手軽に支払いが出来ます。そこで、公共施設窓口におけるキャッシュレス決済の導入について伺います。

公共施設の窓口  
キャッシュレス決済



くまがたのり 議員  
熊坂 宗徳



## 中学校部活動の地域移行

**問** 中学校の部活動は、学校教育の環境でしたが、その主体を学校から地域などに移す「地域移行」が令和5年度から段階的に始まります。そこで、本町の中学校部活動の地域移行の考えについて伺います。

**部活動の適正な運営 スポーツ協会等連携**

教育長 国では、新たに「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方

等に関する総合的なガイドライン」の策定が予定されています。こうしたことから、本町としても、今後、国等から示される部活動の適正な運営や効果的・効果的な活動の在り方と、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応を踏まえた上で、町スポーツ協会及びスポーツ推進委員や総合型スポーツクラブとの連携など、持続可能な部活動となるよう研究に努めていきます。

## 国へ意見書を提出

国に私学助成の拡充を求める意見書の提出について（一部抜粋）

文部科学省の調査では、私立高校授業料の2021年度全国平均額は4万1千円、施設整備費等14万8千円の合計58万9千円である。年収590万円未満世帯でも年額4万5千円の授業料負担が残り、施設整備費と合わせて19万3千円、年収590万円以上世帯では、就学支援金11万8千800円を除いても47万200円という高額の負担が残り、多子家庭では多大な負担となっている状況である。また初年度には全国平均16万3千円の入学負担もあり、私立高校選択の障壁となっている。こうした実態に対して政策理念に立ち「授業料実質無償化」となるよう、また年収590万円以上世帯の学費負担軽減と、私学の学費負担の自治体間格差解消をめざし、年収590万円未満世帯への前年度授業料平均額の支給、授業料無償化世帯・支給対象拡大などの拡充が求められる。

一方、私立学校への経常費助成金の大幅な増額も必要である。とりわけ「少人数学級」と、そのための「専任教諭増」などの実現は、私立学校においても早急に取り組まなければならない喫緊の課題である。私立学校が公教育として重要な役割を担っている立場から、1975年私立学校振興助成法成立時の附帯決議に記された「1/2助成」を速やかに実現されることを強く求める。私立高校の本当の意味での無償化はまだ達成されておらず、これからの動きにかかっている。

よって、憲法、教育基本法、子どもの権利条約の理念にもとづいて、私学助成の一層の充実を図るよう、公私の学費格差をさらに改善し、すべての子どもたちに学ぶ権利を保障するため、私学助成の一層の増額を要望する。

令和4年12月14日

内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣 殿

愛川町議会議長 渡辺 基

# 行政視察報告

## 総務建設常任委員会

総務建設常任委員会では、令和4年10月24日から26日までの3日間、行政視察を実施しました。視察場所と視察内容は次のとおりです。

◎**栃木県塩谷郡高根沢町**  
「道の駅たかねざわ元気あっぱむらのグランピング施設について」

### ●事業の概要

道の駅は、休憩場所の提供や地域情報等の発信のほか、様々なサービスを複合的に提供することにより、住民と来場者の交流を促進し、農業や観光の振興、食を通じた健康づくりの推進を図っています。

### ●主な施策

キャンプスタイルで宿泊を楽しむ快適なグランピング施設やゆったりくつろげる憩いのスペースの設置、行政の窓口サービスや学習支援など、「ヒ

ト・モノ・コト」を結ぶ場所として、地域が主体となり、その特色を生かした事業を展開しています。



高根沢町のグランピング施設

### ◎**栃木県宇都宮市**

「自転車のまち宇都宮の推進に向けた取り組みについて」

### ●事業の概要

宇都宮市民や宇都宮を訪れる方たちの移動を支え、誰もが健康で便利に楽しめる「自転車のまち宇都宮」の実現を目指しています。



### ●主な施策

自転車を活用した「働く・学ぶ」「住まう」「憩う・楽しむ」といった宇都宮市が目指すまちづくりの実現に向けて、自転車ネットワーク整備や公共交通との連携強化により自転車を利用する基盤を整備しています。

さらに安全・安心に対する意識や自転車を日常生活で活用する意識の向



宇都宮市での行政視察

上、自転車を楽しむ多様な機会の提供や自転車に関する様々な情報発信を一体的に推進しています。

### ◎**茨城県常総市**

「関東・東北豪雨災害後の防災危機管理と避難所運営について」

### ●事業の概要

「平成27年9月関東・東北豪雨」により、鬼怒川で1カ所の堤防決壊、

7カ所（市内3カ所）の溢水・越水が生じたほか、堤防の漏水や護岸崩壊による被害が多数発生しました。また、護岸崩壊により市域の3分の1にあたる約40平方キロメートルが浸水しました。

さらに、鬼怒川東地区では多くの家屋や事業所が浸水などの被害を受けたことから、その教訓を忘れないよう様々な取り組みを実施しています。

※**溢水とは**：堤防がない場所であふれること。



常総市議会の議場にて

### ●主な施策

大きな被害を受けた鬼怒川下流域では、「鬼怒川緊急対策プロジェクト」として、常総市を含む7つの自治体が国・茨城県とともに、ハード・ソフトで一体となった緊急的な治水対策を行ってきた。ハード面では、決壊した堤防の本格的な復旧・高さや幅が足りない堤防の整備、洪水時の水位を下げる河道掘削などを実施しました。ソフト面では、豪雨時の行動「タイムライン」の作成と訓練・地域住民等との共同点検・広域避難に関する仕組み作りなどを行ってきました。

# 常任委員会

## 教育民生常任委員会

教育民生常任委員会で、令和4年10月19日から21日までの3日間、行政視察を実施しました。視察場所と視察内容は次のとおりです。

### ◎静岡県伊豆市

「中学校統廃合に向けた取り組みについて」

#### ●事業の概要

平成16年の合併当時において、中学校の生徒数の減少に歯止めがかからず、修善寺・天城・中伊豆の3地区3中学校を1校にする計画案が検討されました。計画に対する議会の否決など、一時は白紙撤回されたものの、その後「新中学校の整備を求める決議」が議会で採択され、現在、新中学校の敷地造成工事を進めています。

#### ●主な施策

計画当初は、地元から多くの反対意見が寄せられた一方で、PTAなど

の協議の場からは、統廃合を必要とする意見がありました。これらの意見の相違を解消するため、地元と学校との調整役に校長先生を経験された方を配置し、地元住民の声を聞きながら学区単位で説明会を開催し、令和7年4月の開校に向けて準備を進めています。



伊豆市議会の議場にて

### ◎静岡県駿東郡長泉町

「子育て支援施策について」

#### ●事業の概要

長泉町は、日本全国で少子化が進む中、出生率が高い水準で推移してい

る町として話題となっています。新幹線や高速道路などで利便性が向上し、企業誘致につながるなど、雇用の安定と福祉サービスの充実が出生意欲を促し、さらに手厚い子育て支援の口コミが現役世代を呼び込んでいます。子育て世代のニーズをこまめに吸い上げ、住民を巻き込みながら、メリハリのある支援を展開しています。

#### ●主な施策

子育てについて相談したくても「どこに行ったらいいかわからない」という声に答え、乳幼児から中学生まで一体的に相談できる、「子育て・教育・福祉・健康に関する」「子ども・子育て総合窓口」を開設しました。また、定住することを応援するため、JR三島駅から新幹線を利用して大学等に通学する学生に対し、1か月最大2万円の助成を行う「新幹線通学支援補助事業」を行っています。



子育て支援センター「パルながいずみ」での説明

### ◎静岡県富士宮市

「ワンストップ福祉総合相談窓口について」

#### ●事業の概要

高齢者・障がい者・児童福祉・DV・所得保障等の重層的な課題を抱えている困難事例に対応するため、平成18年度に地域包括支援センターを基盤とした福祉総合相談窓口がスタートしました。初期相談や利用者が抱える課題を分析、提案する等、関係機関の連絡調整の機能を持たせています。

#### ●主な施策

従前の体制では、相談先が多岐にわたり、その

家族全体の悩みを相談する総合的な機関がなかったため、福祉に関する初期相談と関係機関の連絡調整を実施する福祉総合相談課を設置しました。

### ◎山梨県甲府市

「給食費の公会計化について」

#### ●事業の概要

教職員の多忙化解消や保護者の利便性の向上等を目的として、令和4年度より「学校給食費」公会計化制度へと移行しました。現在は、各市立小中学校に代わり教育委員会が収納業務を行う代理収納を行っています。

#### ●主な施策

市教育委員会と各学校側でしっかりと連携を図り、事前に周知を行ったことにより、特に大きな混乱はありませんでした。徴収方法は、口座振替を基本とし、振替ができなかった場合は、コンビニ収納、金融機関及びPay Payなどの納付書払いにて対応しています。

## 議会クイズのご応募ありがとうございました

毎号多くの皆様からご応募をいただいています。第172号（22回議会クイズ）から第175号（25回議会クイズ）までに寄せられた議会クイズの答えとともにご意見、ご感想を一部紹介します。



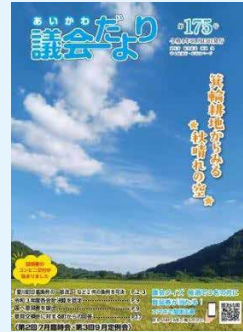
第172号



第173号



第174号



第175号

議会用語の解説など、私のような20代の年齢層にも、今回もわかりやすく読みやすい内容で、毎回楽しみにしています。昨年入籍した私にとっては、今後の子育て支援等の取り組みなど、興味があります。ぜひそういった取り組みの記事なども見させていただきたいです。  
(20代 女性)

縦の小見出しがあって、読みたいページをすぐに見つけられるのが、とても良かったです。リクエストに応えた議会用語解説はシリーズ化してほしいです。

委員さんが撮った写真はどれもほっこりしました。  
(60代 男性)

172号の表紙！普段ゆーっくり愛川町を見れていなかったのが、なんだか気持ちが温くなりました。  
(40代 女性)

現代は高齢化が進んでいるので、認知症予防カフェなどのお年寄りが外に出る機会を作るようなものは、とても良いと感じます。学習の際に、たくさんプリントがあると振り返りにくいので、タブレットやPCでの学習を推進し、ペーパーレスにして頂けると、より効率的に学習出来るのでありがたいです。  
(10代 女性)

人と人の交流が少なくなり、子供の減少と高齢化等、我が町にも困難な問題が山積ですね。

議員の健闘を期待しています。

(80代 女性)

このほかにもたくさんのご意見、ご感想をいただいております。より良い紙面づくりに活かしていきますので、今後ともご応募お待ちしております。



©愛川町

難しい話も、クイズになると分かりやすく理解できたりして、良いと思います。家族で答えを探しながら楽しく読みました。(40代 女性)

持続可能な社会を創る施策を具体的に示してほしいです。  
(70代 男性)

第26回 議会クイズ

問1 町職員の定年に関する条例改正により、地方公務員の定年について、段階的に引き上げる定年延長が可決しました。何歳まで引き上げる改正をしたでしょうか。

- ①65歳 ②68歳 ③70歳

問2 第5次愛川町総合計画は今年度をもって計画期間が満了となります。この計画期間は何年間でしょうか。

- ①10年間 ②12年間 ③15年間

問3 議会クイズには毎回多くの方からご意見をいただいています。そのうち今回は何人の方からのご意見を掲載しているでしょうか。

- ①5人 ②7人 ③9人



©愛川町

クイズの答えはこの議会だよりのどこにあります。正解者の中から抽選で3名の方に商品券をお贈りします♪たくさんのご応募をお待ちしています！

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号、また必ず議会だよりの感想等をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。紙面の見やすさなどについてもご意見をお聞かせください。

《しめきり》 1月31日(火) (郵送の場合は当日消印有効)

☆正解と当選者は次号で発表します。

《あて先》 ●はがきの場合

〒243-0392  
角田251-1 議会事務局

●オンラインの場合右記の二次元コードを活用して、応募ができます。



●ファクスの場合

046-286-5021

●電子メールの場合

gikai@town.aikawa.kanagawa.jp

第25回議会クイズの  
答えと当選者

前号の議会クイズの正解と当選者は次のとおりです。

《正解》

問1・①コンビニエンスストア  
問2・②2億6708万9千円  
問3・③本会議での質問動画

《当選者》

佐藤 優子 様  
榎本 誠一 様  
野副 竜彦 様  
以上3名

議会だよりは、

愛川町録音ボラン  
ティアグループ「かえ  
での会」のご協力に  
より、視覚障がい者  
用にCD化されてい  
ます。

ご希望の方は、社  
会福祉協議会へご連  
絡ください。

TEL 046・285・

2111

(内線3792)

令和5年第1回3月定例会日程(予定)

月	火	水	木	金	土	日
2/27	2/28	1	2	3	4	5
	本会議 (施政方針・ 提案説明)		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)		
6	7	8	9	10	11	12
	本会議 (個人総括質疑)		本会議 (会派代表質問)	総務建設/ 教育民生 常任委員会		
13	14	15	16	17	18	19
		総務建設 常任委員会	教育民生 常任委員会	総務建設 常任委員会		
20	21	22	23	24	25	26
教育民生 常任委員会	春分の日			本会議 (委員長報 告・ 討論・採決)		

会議はいつでも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会  
は2月17日に開催する予定です。日程が変更  
なる場合もありますので、詳細は議会事務局に  
お問い合わせください。

次回定例会のお知らせ

令和4年11月10日(木)  
に町文化会館において、  
神奈川県町村議会議長会  
主催による町村議会議員  
研修会が次のとおり開催  
されました。

■講師  
歴史家・作家  
加来 耕三氏  
■研修テーマ  
「歴史を学び、  
未来を読む」

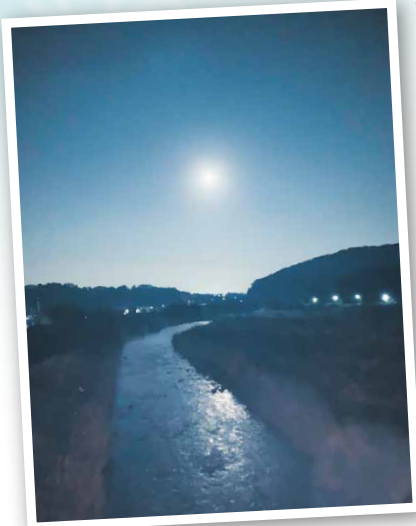
議員研修会



# あいかわほっこり写真館



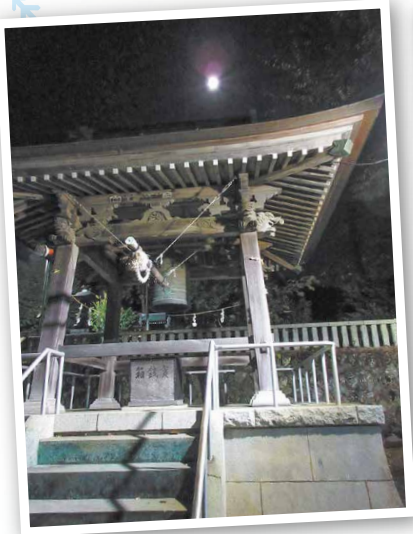
ちょっとレトロなバス停



夜の平山大橋



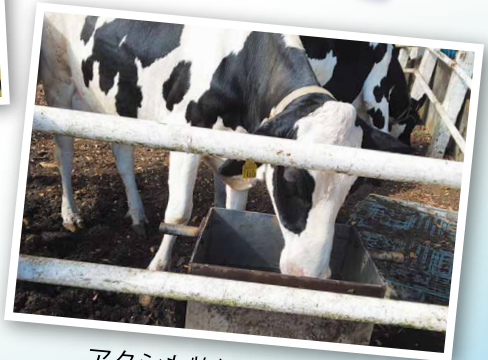
色づき始めた  
黄と緑のイチョウの葉(11月撮影)



半原神社の梵鐘と鐘楼  
新たな時を刻む



半原の山並にたなびく白い雲  
中津川の土手から望む



アタシも牧場にいるのよ  
モー、はやく観にきてよね!



◎議会クイズは15ページに掲載しています。

- 広報広聴常任委員会**
- 委員長 岸上 敦子  
副委員長 茅 孝之
- 委員 玉利 優  
委員 阿部 隆之  
委員 熊坂 崇徳  
委員 小林 敬子  
委員 井出 一己  
委員 山中 正樹  
委員 小島総一郎  
委員 井上 博明

## 編集後記

明けましておめでとう  
ございます。町民の  
皆様には、謹んで初春  
をお迎えのこととお慶  
び申し上げます。

今年の議会クイズで  
は、今号の14ページに  
紹介しましたとおり、  
多くの方から沢山のご  
意見をいただきました。  
寄せられたご意見を真  
摯に受け止め、議会活  
動が町民の皆様になら  
るよう、広報の充実に  
努めていきます。

また、意見交換会な  
どを開催して、広聴活  
動にも尽力していきま  
すので、本年もどうぞ  
よろしく願います。